

**2021 年度事業報告書**  
(2021 年 4 月 1 日～2022 年度 3 月 31 日)

特定非営利活動法人  
コミュニティルネッサンス研究所

## I 事業の成果

2021 年度は 2020 年度に比べ、緊急事態宣言や蔓延防止措置の頻度と期間が長かった。そのため、昨年度総会で計画した事業のうち、実施できたのは、下記の表のとおりであった。しかし、コロナ感染拡大下の中でもいささかの成果を上げることが出来た。

### 1. 会報紙面の工夫

2021 年度の事業は緊急事態宣言や蔓延防止重点措置が解除されている期間に参加者が決まっている会員等による「ジェロントロジー研究会」「ケアの社会学を読む会」「オカリナを楽しむ会」を中心に行った。そのため、会報は 3 回しか発行できなかった。しかし、会員に高齢者問題にかかわりのある映画や書物などの感想を書いてもらって掲載するなどの工夫を行った。

### 2. ヤギの飼育をとおした地域づくり

今年はオス山羊が保育園の飼育場にやって来た。残念ながらオス山羊の調子が悪くなり死亡したが、2 匹のメス山羊がそれぞれ 2 匹と 1 匹の子ヤギを出産した。これらの様子を保育園児や通りがかった地域の人たちがながめる事が出来、会話のきっかけを作り、「いのち」を考える機会になったと考えられる。これらのことが「地域づくり」にいささかでもつながればと考えている。

### 3. 2022 年度行事への準備

2021 年度は蔓延防止重点期間であったため味噌作りの行事は実施することが出来なかったが、2019 年度に作成した味噌は販売することが出来た。2022 年度に「味噌作り」の行事が実施することが出来れば、と事務局中心で味噌を仕込んで、次年度の行事の準備を行うことが出来た。

### 4. リモート会議の開催

耐震診断評価委員会は原則 NPO 法人の会議室で行ってきた。しかし、緊急事態宣言下で患者数も増加傾向にあったため、9 月 17 日の評価委員会はリモート会議で行った。